

科目名	子どもの保健 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	前期			
担当者名	谷川 和子	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要 子どもの特性を理解し、保育に必要な子どもの成長・発達に関する知識を習得する。 子どもの健康保持や増進、発達支援について、保育者としての責任や役割を学ぶ。							
到達目標 1. 子どもの心身の健康増進をはかる保健活動の意義を理解できる。 2. 子どもの身体の成長や、運動機能・解剖生理機能・精神機能の発達について理解できる。 3. 子どもが健康に成長できる環境について考えることができる。 4. 子どもと家族をとりまく法律や政策について理解できる。			成績評価方法 ・テスト 70% ・小テスト、授業内レポート 10% ・授業外レポート 10% ・授業態度・授業参加度 10%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○					70%
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		10%
宿題、授業外レポート			○				10%
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		10%
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション 子どもの健康と保健の意義、母子保健施策				課題「母子健康手帳の内容を調べよう」			
2) 子どもの発育・発達 発育の原則、新生児・乳児の身体発育				小テスト			
3) 子どもの発育・発達 幼児期・学童期・思春期の身体発育、身体発育の評価				身体発育の評価の実施			

4) 生理的機能の発達 呼吸・循環・体温・免疫	グループワーク「大人と子どもの違いと気をつけたいこと」
5) 生理機能の発達 消化・排泄・水分代謝・内分泌	グループワーク「子どもの水分必要量から気をつけたいこと」
6) 生理機能の発達 睡眠・感覚・神経機能（反射・運動機能）	グループワーク 「子どもの睡眠」
7) 精神機能の発達 知能、言語、精神発達の評価法	デンバー式発達スクリーニング 検査の実施
8) 情緒・行動の発達の発達 情緒の発達、社会性の発達	小テスト
9) 子どもの主な病気 子どもの病気の特徴、保育の現場でよくある病気	グループワーク「事例を考える」
10) 子どもの主な病気 保育の現場でよくある病気	グループワーク「事例を考える」
11) 子どもの主な病気 保育の現場でよくある病気	グループワーク「事例を考える」
12) 子どもの精神保健 子どもの心の健康とその課題	グループワーク「事例を考える」
13) 環境と衛生管理・安全管理 保育の環境整備と保健	グループワーク「適切な保育環境について考える」
14) 健康及び安全の実施体制 主な母子保健対策と保育、母子保健に関連する法規	
15) まとめ、子どもの保健に対する保育士の役割	子どもの健康に対する保育士の役割を整理しよう
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の内容を調べて成長発達の過程で必要なことを理解しましょう。 ・復習を行い知識の確認をしてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの保健Ⅰ」佐藤益子編集（ななみ書房）	子どもの保健Ⅱ、こどもの保健Ⅲ、乳児保育、障害児保育、小児栄養
備考	
【オフィスアワー】毎回の授業終了時に行います。	